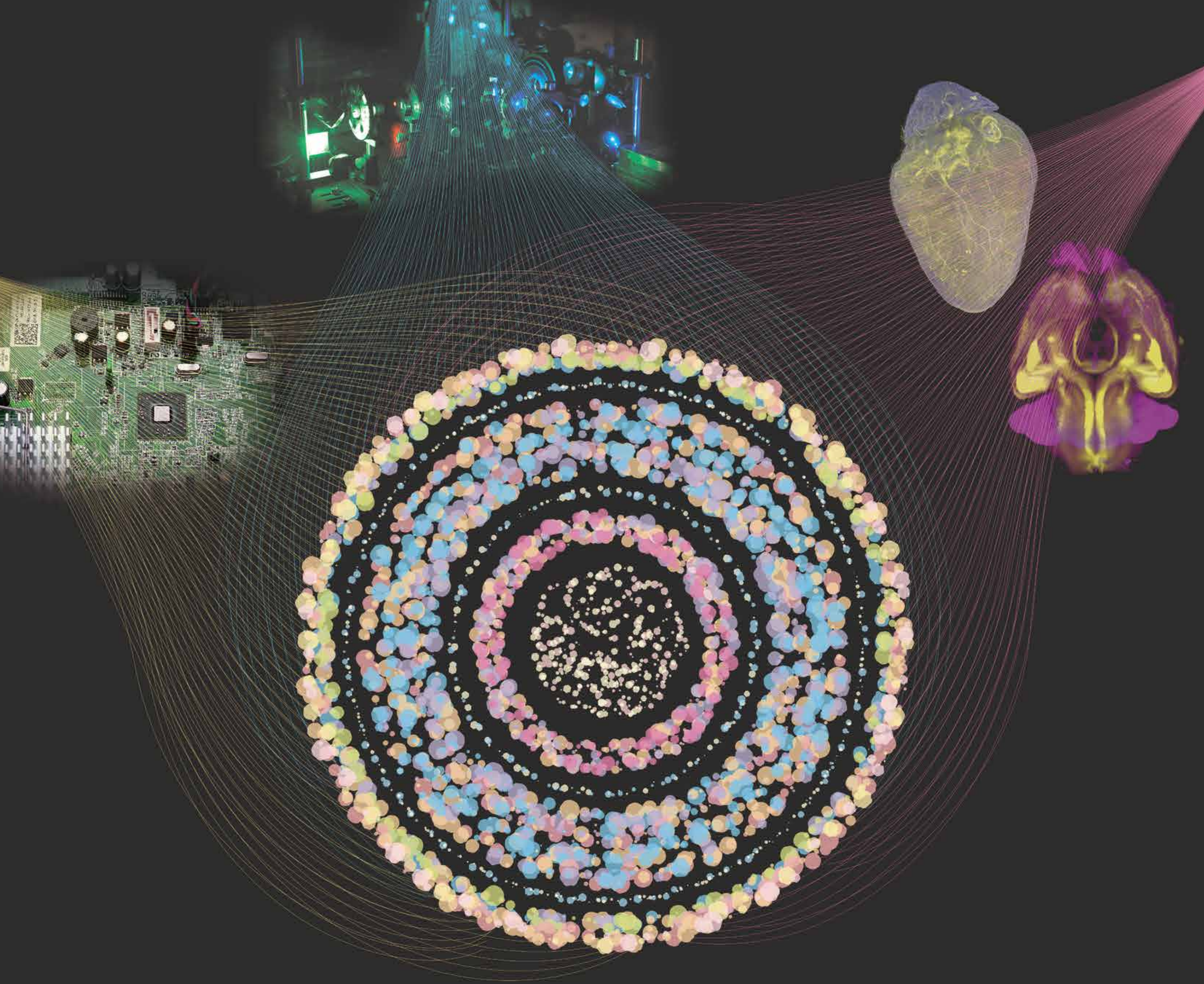




公開シンポジウム

全細胞・マルチモーダル計測が拓く 統合バイオサイエンス

平成28年1月15日(金) (13:00~18:00)

大阪大学大学院 生命機能研究科 生命システム棟 2階セミナー室

参加費 無料

コーディネーター

永井 健治 (大阪大学)
有田 正規 (国立遺伝学研究所)
上田 昌宏 (大阪大学)

主催

日本学会議
基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 IUPAB 分科会、生物物理学分科会、
基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・
薬学委員会・情報学委員会合同 バイオインフォマティクス分科会

共催

理化学研究所 生命システム研究センター (QBiC)

後援

大阪大学大学院 生命機能研究科

講演

上田 泰己 (東京大学)
「全細胞生物学の実現に向けて」

青木 伊知男 (放射線医学総合研究所)
「MRI 顕微鏡とマルチモーダル統合技術が生命科学にもたらすもの」

横田 秀夫 (理化学研究所)
「多種画像処理による生命現象の解析」

小原 雄治 (国立遺伝学研究所)
「地球上のゲノムをどこまで読んで、どう使うか」

丸山 宏 (統計数理研究所)
「情報技術は科学の営みをいかに変えるか」

泰地 真弘人 (理化学研究所)
「生きた生命を読みとるために、情報科学は何ができるか」

美宅 成樹 (豊田理化学研究所)
「ゲノム配列の物理」

問い合わせ

理化学研究所 生命システム研究センター

〒565-0874
大阪府吹田市古江台 6-2-3
TEL: 06-6155-0113

大阪大学大学院 理学研究科生物科学専攻

〒560-0043
大阪府豊中市待兼山町 1-1 上田昌宏

<http://www.qbic.riken.jp/integrated-biosciences/>